

北アルプス連峰大パノラマの展望 燕岳～大天井岳～常念岳～蝶ヶ岳

実施日 2017年8月3日(木)～6日(日)
天候 3日 曇 4日 晴れ/曇り/霧
5日 晴/霧 6日 晴れ

リーダー 伊藤 久雄
参加者 若村勝昭、若村貴世子、白石
恵美子、石附智江、伊藤久雄、
宇野輝代、児玉章 計7名

費用 員13,620円(新宿起算) 車2,740円
宿泊費29,300円 温泉400円
合計 46,060円

タイム 8/3 燕山登山口(11:30~13:30)第
三ベンチ(15:15~40)合戦小
屋(17:00)燕山荘

8/4 燕山荘(6:00~6:30)燕岳(7:2
5)燕山荘(11:10~30)昼食)大
天荘(11:30~45)大天井岳(15
:00)場念小屋

8/5 常念小屋(5:50~7:55)常念岳
(7:55~8:20)休憩)2592P(11:1
5~45)昼食)蝶ヶ(13:20)蝶ヶ
岳ヒュッテ(14:10)

8/6 蝶ヶ岳ヒュッテ(6:10~7:00)
2014P(8:00)まめうち平(10:
00)三股登山口

8/3 迷走台風(18日間)のお陰で進路が
どちらに進むのか全く分からなく直前ま
で悩みましたが2日前に西の方に向き
を変えたので決行する事にしました。

穂高駅から時間短縮のためタクシーで
燕岳登山口向かう。降りるとすぐ傍に登
山道が有り其処から登り始める。

急な登りの道はよく整備されていてき
ついが歩きやすい。樹林帯の中を第一ベン
チから第二、第三、



富士見ベンチと登
って行く。三時間
半余りで合戦小屋
にようやく着く。
此処で名物のスイ

カにありつく(一切れ800円 一玉4,800
円?)曇っていたがだいぶ汗をかいたの

で塩をたっぷりかけてかぶりつく美味
い。平日だったのか時間帯がずれてた
のか人はほとんどいなかった。

前泊のW夫妻の出迎えの中一時間半程
で燕山荘に到着する。登山中は人も少な
かったが山荘は大勢の人で賑わってい
た。オーナーの赤沼さんのスライドを使
った一年を通しての燕岳の魅力や雷鳥の
保護の話、最後に名物のホルンの演奏を
聴き楽しい夕食となった。

8/4 朝曇りがちだったお天気が徐々に
回復してきて何とかご来光を見る事が出



来た。雲海に富士
山、南アルプス、
八ヶ岳が頭を出し
ている。小屋の外
はご来光を見るた

め大勢の人が出ていたが仲間はご来光に
は目もくれず食堂で黙々と朝食をとって
いる。花より団子で大食堂はこぶし会
で貸し切りだ。遅しい。

6時北アルプスの女王を目指して出発す
る。コマクサの群生
地やオンタデ、トウヤ
クリンドウ、タカネヤ
ハズハハコ等の高山植
物、イルカ岩メガネ岩
などの奇岩を見ながら
白い花崗岩の砂地の燕岳を一時間余りで
往復する。



見通しも良く清々しい朝、いよいよ表
銀座から常念小屋を目指す。歩き始めは



晴れてはいるが
裏銀座の山々の
上部は雲に覆わ
れていて山名が
判りづらい。徐
々に晴れてきて

右に裏銀座の山々を見ながら稜線に沿っ
て蛙岩、大下りの頭、2699Pと歩を進め
る。ざれ場、ガレ場、岩場と変化に富ん
だアップダウンの道が続く結構ハード
だ。切通岩の鎖場、梯子を降りると大天
荘まで500mの表示が有りハイマツ帯
を登って行くが100mが長い。大天荘に
ようやく着き昼食にする。

時折陽が射して暑い。ゆっくり休んだ
後、大天井岳を15分程で往復し常念小
屋を目指す。

常念岳、槍ヶ岳の分岐の看板を過ぎると暫く穂高の大展望を見ながらの稜線歩きになる。東天井岳、横通岳とガレ場のアップダウンを繰り返す。途中幸運にもヒナ4羽を連れてたほほ笑ましいライチョウの親子に出会う。



時折霧がはれて槍ヶ岳の穂先が顔を出す。なかなか見えなかったが横通岳を過ぎた辺りから赤

い屋根の山小屋がようやく見えてくる。長いガレ場の急坂を疲れた体に鞭を打ちやっとの思いで下る。

常念岳が近くに在り土曜日と相まって小屋は大変混雑していたがこぶし会で一部屋を確保できたのは良かった。

8/5 東の空は雲海が広がっていたがご来光を見る事が出来た。西は上天気である。今日は穂高連峰、槍ヶ岳が青空にくっきりと浮かぶ。



常念岳は人気の山らしく大勢の人たちがガレ場のきつい山道をジグザクに登

って行く。頂上に近づくと岩場になり2時間程でようやく祠が鎮座する頂上に着く。頂上は非常に狭く次から次に登ってくるので少し下がった所で集合写真を撮り、槍ヶ岳、穂高連峰、笠ヶ岳の遠方に白山、焼岳、御嶽山、乗鞍岳、富士山、八ヶ岳、南アルプス、昨日登った大天井岳、鷲羽岳、水晶岳、遥か彼方に立山連峰等の素晴らしい大展望を写真、スマホ、脳裏に焼き付ける。何時までも眺めていたいのが30分程楽しんだ後下山を始める。



急なガレ場、岩場を下り樹林帯を登り返す。幾つかの樹林帯のアップダウンを繰り返しやっとの思いで2592Pに着き昼食とする。時折ミストが流れ気持ちがい

良い。食後下り始めると突然お花畑が現れ撮影会となる。ニッコウキスゲ、オタカラコウ、マルバタケブキの群生で辺り一面黄色で覆われてる。タカネシュラソウ、車ユリ、ムカゴトラノオ、カラマツソウ、タカネヤハズハハコ、ハクサンフウロウ、テガタチドリ等の花が咲き乱れている。一旦下り樹林帯を登り返すと蝶槍に着く。



幾つかの小ピークを越え今日の宿泊地蝶ヶ岳ヒュッテに着く。すぐ裏に蝶ヶ岳が有り宿泊



の手続きを済ませ15分ぐらいで往復する。

8/6 ご来光を見るため小屋の外へ出ると目の前に穂高連峰、槍のシルエットが素晴らしい。やや雲が多いがご来光を見る事が出来た。タクシーの予約を済ませ早々に下山を開始する。

今日も上天気だ。やや急坂のガレ場や根っこの張り出した歩きにくい樹林帯の中を淡々と降りていく。途中「ゴジラの木」や甘みのある美味しい「力水」を飲んで元気



をもらい下山をし、「四季の郷ほり」で3日間の汗を流し豊科駅から帰宅の途に着いた。

行くときにウロウロしていた迷走台風が下山してもまだウロウロしていて2日後日本を西から富山県に縦断し熱帯低気圧になった。

非常に幸運に恵まれた登山になり又素晴らしい北アルプスの大展望の峰々を望みながら想像以上にハードな山行になりましたが思い出に残る楽しい山旅になりました。予定の時間を大幅にオーバーした山行になりましたが皆よく頑張ってくれました。感謝感謝です。

(記&写真：伊藤 久雄)